福祉学部

【こども学科の特徴と教育】

１．こども学科の三つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）【卒業認定・学位授与の方針】

本学の教育目的及び人材育成の目的に基づき、こども学科における学修を通して以下に示す能力・技能等を身に付け、高度な実践力を修得することを求めます。福島学院大学学則に定める所定の卒業要件を満たした者に、「学士（こども学）」の学位を授与します。

（１）総合力

人間や文化について幅広い知識を身に付け、多様な価値観を受け入れ、様々な状況にも柔軟に対応できる思考力・判断力・実行力等が備わっていること。

（２）課題解決力

様々な問題や課題を的確にとらえ、保育、教育、福祉の視点から、その解決に取り組むための知識、理解、意欲、態度が身に付いていること。

（３）構築力

保育・教育・福祉にまつわる新たな課題に向き合い、的確に分析するとともに、その解決方法を構想し、形にする力を有していること。

（４）コミュニケーション力

子どもから大人まで、多様な人間関係の中で、他者との意思疎通、相互理解を円滑に行う上で必要な表現力や態度が身に付いていること。

（５）実践力

変化し続ける社会情勢を的確にとらえ、保育・教育の専門性を発揮し実践するための知識、技能、態度が身に付いていること。

カリキュラム・ポリシー（CP）【教育課程編成・実施の方針】

こども学科は、卒業認定や学位授与に求められる能力や資質を身に付け、ディプロマ・ポリシーの達成に向けて学修を推進し、ディプロマ・ポリシーが示す能力と専門性の養成のために、以下の方針に基づいて体系的なカリキュラムの編成をしています。

（１）教養教育科目

学士力の基礎となる知識や技術の獲得を目指し、より興味を持って取り組み、その能力の必要性を感じながら主体的に学べるよう配慮したカリキュラムを編成しています。幅広い視野での相関的並びに融合的なカリキュラム編成をより重視している。

また、初年次教育等を含む教養教育分野は、次第にたどり着く専門分野への入り口として位置づけられており、専門分野とのにも配慮したカリキュラム設計としている。

（２）専門教育科目

こども学科の教育課程は幼稚園教諭一種免許状取得のための教職課程及び保育士養成の教育科目を中心に、系統的に編成している。さらに、教育・保育・福祉における、より高度な専門性を修得するための本学独自科目及びゼミナールを配置している。また、その到達目標達成への道筋をナンバリングやカリキュラムツリーに示し、学修を進めることができるようにプログラムを組んでいる。

（３）実践的・体験的科目

学外での保育・教育実践や体験的科目として、幼稚園教育実習と保育所実習、その事前事後指導や保育実習指導の授業科目においても、学外での保育・教育現場での体験学習を積極的に実施している。

また、指導法の科目等においては、指導計画案の作成から模擬保育など、アクティブラーニングによる学びを取り入れ、学外実習先や就職先における実践力向上に繋がるよう教育課程を編成している。

（４）グローバル視点とコミュニケーション能力

保育者の専門性として特に求められるスキルは、子どもをはじめ、その家庭及び保育者間の協働のためのコミュニケーションであり、その能力向上に必要な表現力や、語学力修得のための教育科目を教養教育科目、専門教育科目の両方に配置している。

また、国際化という視点からは、異文化理解及び外国語科目を教養教育科目に配置している。

アドミッション・ポリシー（AP）【入学者受入れの方針】

建学の精神「真心こそすべてのすべて」、大学の教育の理念及び教育目的を理解し、こども学科における教育を受けるために必要な、次に掲げる資質・能力を備え、将来、保育者として社会貢献を目指す意志を有している学生を求めます。

（１）将来、保育者として子どもの教育・福祉に貢献したいという明確な目標をもち、目標達成のために本学での学修に積極的かつ躍動的に取り組む意欲と行動力を有している。

（２）本学での学修に必要な基礎的な知識・技能、子どもや子どもの環境に関する専門分野において必要な論理的・探究的思考ができる。

（３）子どもや子どもの環境に関する様々な課題に対応できる思考力・判断力・表現力を有している。

２．こども学科のカリキュラム

教育課程（カリキュラム）

（1）基本的な考え方

開講される授業は「教育課程表」のとおりです。

教育課程（カリキュラム）は、「教養教育科目」と「専門教育科目」に分かれています。

そして科目ごとに、授業の方法（講義・演習・実習）、履修できる学年、科目の種類（必修・選択）、単位数が決められています。

これらの科目の中から、どの科目を履修するのかを自分で決めていくのが大学でのシステムです。ただし、履修にはいくつかの約束事がありますので、しっかりと理解し、確認してください。

自分で決めた科目（授業）を受講して、学期末の試験（筆記試験、レポート試験等）に合格すると

「単位」が認定されます。「単位」については、下記に取り上げていますが、卒業や資格取得への目安になる「数」を示します。

（2）履修の方法

4 年間で学ぶ全ての授業科目は、教育課程にまとめられています。この中から、卒業および幼稚園教諭一種免許状、保育士資格を取得するために必要な科目と単位数を確認して、履修する科目を決めていきます。

（3）科目の種類

科目には、「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に大別されます。

卒業までに必ず取得しなければならないのが「必修科目」であり、どちらかを選択して必ず取得しなければならないのが「選択必修科目」です。それ以外の科目が「選択科目」となっています。

「必修科目」と「選択必修科目」は皆さんが、取得する必要のある科目であり、この科目が卒業時までに一つでも取得できていなければ、卒業することができません。

（4）授業の開講期及び単位制

授業科目は、教育課程表にまとめられています。この中から卒業、幼稚園教諭一種免許状、保育士指定科目を取得するために必要な科目と単位数を確認して、履修する授業科目を決めていきます。

学修期間は年間を前期（4 月 1 日～9 月 30 日）と後期（10 月 1 日～3 月 31 日）の 2 期に分け、1 期 15 週とします。授業科目によっては前後各 1 期で完結する「半期科目」と、1 か年（通年）30 週で完結する「通年科目」があります。

①単位とは学習時間を表したものであって、ある科目について所要の時間数を履修し、その試験に　合格したとき、あるいは授業科目担当者がその科目を履修したことを認定した時に単位を修得したことになります。

②単位の計算方法は「大学設置基準」に基づいて本学学則に定められています。各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間以外に必要な学修を考慮して、次の基準により計算します。

- 講義および演習については、15 時間から 30 時間の範囲で、本学が定める時間の授業をもって 1 単位とします。
- 実験・実習および実技については、30 時間から 45 時間の範囲で、本学が定める時間の授業をもって 1 単位とします。
- 授業時間は 2 時間連続(正味 90 分)を「時限」としておりますので、各時限を 2 時間として単位の計算をします。
- 授業時間以外に必要な学修時間の計算方法は、講義 2 単位の場合 90 時間の学修量が必要です。1 回 2 時間(90 分)で 15 回の授業では、2 時間×15 回=30 時間(90 時間の 1/3)の学修になります。90-30=60 時間は授業外の学修時間(予習・復習)となり、この場合 60 時間分の予習・復習等の学修が必要となります。

３．授業科目履修上の注意

履修の制限

履修には制限のある場合があります。

（1）（授業を行う学生数）学則第 29 条

（2）（履修科目の制限）　履修細則第 4 条

実習に出るには、それぞれの学年で取るべき単位を落とさずに取っておくことが大切です。標準履修年次が 1・2 年次の科目はその学年で取っておく必要があります。1・2 年次の科目を落としてしまうと、3 年次以降の実習に向けて履修する科目に支障をきたします。

（3）（履修科目の登録の上限)学則第 34 条

修得しようとする 1 年間の単位数は、希望資格取得に必要な単位数や個々の能力によっても異なってきます。学生が各年次にわたり、授業科目を適切に履修するため、1 年間に登録できる履修単位の上限を 50 単位以下としています。

４．卒業要件と履修方法

卒業に必要な単位数

「単位数」は決められただけの数を修得していないと卒業できません。こども学科の「卒業に必要な単位数」は次のとおりです。

福祉学部

科目別 / 学科別	教養教育科目	専門教育科目
福祉心理学科	24 単位以上	100 単位以上
こども学科	26 単位以上	98 単位以上

５．各種資格取得課程

こども学科において指定された単位を修得すると、次の資格が取得できます。

① 幼稚園教諭免一種免許状

② 保育士資格

幼稚園教諭一種免許状

(1) 幼稚園教諭一種免許状とは

幼稚園教諭一種免許状は、教育職員免許法、教育職員免許法施行規則に基づく国家資格です。この免許状は、次の（2）に定められた科目を履修し、必要単位を修得して卒業することが条件です。

(2) 指定科目

教育職員免許法に基づく免許状の取得に必要な科目を履修し、単位を修得することによって、幼稚園教諭一種免許状を取得することができます。本学では、「幼稚園教諭一種免許状資格取得に必要な科目一覧」のとおり、必修科目として配当しています。

(3) 科目①教養教育科目、②専門教育科目（教科に関する科目)、③その他の科目

①教養教育科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	履修年次	単位数	備考
日本国憲法	日本国憲法	2	2	
体育	体育講義	1	1	
	体育実技	1	1	
外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ（ベーシックレベル）	1	2	レベルに応じ、4単位必修。Ⅰの履修者はⅡまで、Ⅱの履修者は英書リーディングまで必修
	英会話Ⅱ（アドバンスレベル）	1	2	
	英書リーディング	1	2	
情報機器の操作	情報機器操作Ⅰ	1	2	レベルに応じ、いずれか2単位必修。ただし、レベルⅠの履修者はⅡまで必修 データサイエンスは選択
	情報機器操作Ⅱ	1	2	
	データサイエンス	2	2	
合　計			12	

※ 教育職員免許法に基づく幼稚園教諭一種免許状の指定科目の他に、「初年次教育」、「文章表現Ⅰ」、「文章表現Ⅱ」、「会話演習」、「生活教養Ⅰ」「生活教養Ⅱ」、「英書リーディング」（「英会話Ⅱ（アドバンスレベル)」を履修した者）の科目を必修科目としています。

②専門教育科目（教科に関する科目）

免許法施行規則に定める科目区分	各科目に含めることが必要な事項	開設科目名	単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	イ　領域に関する専門的事項	子どもと健康	1
		子どもと人間関係	1
		子どもと環境	1
		子どもと言葉	1
		子どもと身体表現	1
		子どもと造形表現	1
		子どもと音楽表現	1
	ロ　保育内容の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	2
		保育内容指導法　健康	2
		保育内容指導法　人間関係	2
		保育内容指導法　環境	2
		保育内容指導法　言葉	2
		保育内容指導法　表現Ⅰ	2

		保育内容指導法　表現Ⅱ	2
教育の基礎的理解に関する科目	イ　教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2
	ロ　教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む）	保育者論	2
	ハ　教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政	2
	二　幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
		発達心理学	4
	ホ　特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2
	ヘ　教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	保育・教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間帯の指導法及び生徒指導、教育相談等	イ　教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法及び技術	2
	ロ　幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	2
	ハ　教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2
教育実践に関する科目	イ　教育実習	幼稚園教育実習（事前事後指導１単位含む）	5
	ロ　教職実践演習	保育・幼稚園教職実践演習	2
大学が独自に設定する科目	ゼミナールⅠ		2
	ゼミナールⅡ		2
合　　計			54

③その他の科目

こども学科では、教育職員免許法に基づく幼稚園教諭一種免許状の取得に必要な科目の他に、本学独自の科目として「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」を必修科目としています。

保育士資格

(1) 保育士とは

保育士は、「児童福祉法」に基づく国家資格です。その仕事の内容は、児童福祉施設」（保育所、施設など）で児童の健全な育成をめざし保育にあたるとともに、ソーシャルワークの視点からカウンセリング能力や対話能力を身につけ、児童の保護者に対しても子育ての支援を行うことです。子の保育士の資格の取得は、次の (2) に定められた指定科目を履修し、必要単位を修得して卒業することが条件です。

(2) 指定科目

児童福祉法に基づく資格の取得に必要な科目を履修し、単位を修得することによって、保育士資格を取　得することができます。本学では、「保育士資格取得に必要な科目一覧」のとおり、必修科目、選択必修科目を配当しています。

(3) 必修科目①教養教育科目、②専門教育科目

①教養教育科目

教科目	単位数	授業科目	履修年次	単位数	備考
外国語・体育以外の科目	6以上	初年次教育	1	1	
		文章表現Ⅰ	1	2	
		文章表現Ⅱ	1	2	
		会話演習	2	2	
		情報機器操作Ⅰ（初級レベル）	1	2	レベルに応じ、いずれか2単位必修。ただし、レベルⅠの履修者はⅡまで必修
		情報機器操作Ⅱ（中級レベル）	1	2	
		生活教養Ⅰ	1	2	
		生活教養Ⅱ	1	2	
外国語	2以上	英会話Ⅰ（ベーシックレベル）	1	2	レベルに応じ4単位必修。Ⅰの履修者はⅡまで、Ⅱの履修者は英書リーディングまで必修。
		英会話Ⅱ（アドバンスレベル）	1	2	
		英書リーディング	1	2	
体育	1	体育講義	1	1	
	1	体育実技	1	1	
合　計	10以上			19	

②専門教育科目

系列	教　科　目	最低修得単位数	授業科目	履修年次	単位数
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	1	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	1	2
	社会福祉	2	社会福祉	1	2
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	1	2
	保育者論	2	保育者論	1	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	発達心理学	1	4
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	幼児理解の理論と方法	3	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	1	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育･教育課程論	1	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	1	2

	保育内容演習	5	保育内容指導法 健康	3	2
			保育内容指導法 人間関係	3	2
			保育内容指導法 環境	2	2
			保育内容指導法 言葉	2	2
			保育内容指導法 表現Ⅰ	2	2
	保育内容の理解と方法	4	子どもと健康	3	1
			子どもと人間関係	3	1
			子どもと環境	2	1
			子どもと言葉	2	1
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	2	1
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	2	1
	障害児保育	2	障害児保育	3	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	2	1
	子育て支援	1	子育て支援	2	1
保育実習	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ	2・3	2
	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ	3	4
総合演習	保育実践演習	2	保育･幼稚園教職実践演習	4	2
合　計		51	合　計		63

(4) 選択必修科目①専門教育科目、②その他の科目

①専門教育科目

系列	単位数	授業科目	履修年次	単位数	備　　考
保育の対象の理解に関する科目	１５単位以上	教育行政	３	２	この中から６単位以上必修
		教育心理学	２	２	
		特別支援教育	３	２	
保育の内容・方法に関する科目		教育方法及び技術	３	２	
		教育相談	３	２	
		子どもと身体表現	３	１	
		子どもと造形表現	３	１	
		子どもと音楽表現	３	１	
		保育内容指導法表現Ⅱ	３	２	
保育実習	２	保育実習Ⅱ	４	２	Ⅱ、Ⅲいずれか３単位必修
		保育実習Ⅲ	４		
	１	保育実習指導Ⅱ	３・４	１	
		保育実習指導Ⅲ	３・４		
合　　計	１８単位以上	合　　計		１８	

②その他の科目

	授業科目	履修年次	単位数	備　　考
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目	認定こども園基本実習	２	１	
	ピアノ演習Ⅰ	１	２	いずれか２単位必修
	器楽演習	１		
	ゼミナールⅠ	３	２	
	ゼミナールⅡ	４	２	
	合　　計		７	

福祉学部こども学科　教育課程表

（令和４年度以降入学生用）

科目					単位数	授業形態	授業回数	履修年次				卒業		幼稚園教諭一種		保育士		備考
分野		幼一	保	授業科目				1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
教養教育科目	教育方針			初年次教育	1	講義	8	○				1			1	1		
	表現力向上分野			文章表現Ⅰ	2	講義演習	15	○				2			2	2		
				文章表現Ⅱ	2	講義演習	15	○				2			2	2		
				会話演習	2	演習	15		○			2			2	2		対話及びプレゼンテーションを含む
	情報教育分野			情報機器操作Ⅰ	2	演習	15	○				2	2	2	2	2	2	入学時のテストにより履修レベルを決定する。 ２単位以上必修とするが、Ⅰの履修者はⅡまで計４単位必修とする。
				情報機器操作Ⅱ	2	演習	15	○					2		2		2	
				データサイエンス	2	演習	15		○				2		2		2	
	人間関係分野			生活教養Ⅰ	2	講義演習	15	○				2			2	2		
				生活教養Ⅱ	2	講義演習	15	○				2			2	2		
	教養分野			音楽演習	2	演習	15	○					2		2		2	
				美術演習	2	演習	15	○					2		2		2	
				文学演習	2	演習	15	○					2		2		2	
				日本国憲法	2	講義	15		○				2	2			2	
				倫理学概論	2	講義	15			○	○		2		2		2	
				哲学	2	講義	15			○	○		2		2		2	
				教養演習Ⅰ	1	演習	15			○	○		1		1		1	お菓子作り・パン作り
				教養演習Ⅱ	1	演習	15			○	○		1		1		1	DVD制作
				地域研究	1	演習	15		○	○	○		1		1		1	
	国際理解分野			英会話Ⅰ（ベーシックレベル）	2	演習	15	○				4単位必修（②2科目）	2	4単位必修（②2科目）	2	4単位必修（②2科目）	2	入学時のテストにより履修レベルを決定する。 Ⅰの履修者はⅡまで、１年次Ⅱの履修者は英書リーディングまでの計４単位必修とする。
				英会話Ⅱ（アドバンスレベル）	2	演習	15	○					2		2		2	
				英書リーディング	2	演習	15	○					2		2		2	
				国際理解論	2	講義	15	○					2		2		2	
				国際理解演習	2	演習	15	○	○				2		2		2	
	体育分野			体育講義	1	講義	8	○				1		1		1		
				体育実技	1	実技	20	○				1		1		1		

	幼教系列		保育士系列	授業科目	単位数	授業形態	授業回数	履修年次				卒業		幼稚園教諭一種		保育士		備考
								1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
専門教育科目	教育の基礎的理解に関する科目	イ	保育の本質・目的に関する科目	教育原理	2	講義	15		○			2		2		2		
		ロ		保育者論	2	講義	15	○				2		2		2		
				保育原理	2	講義	15	○				2			2	2		
				社会的養護Ⅰ	2	講義	15	○				2			2	2		
				社会福祉	2	講義	15	○				2			2	2		
				子ども家庭福祉	2	講義	15	○					2		2	2		
				子ども家庭支援論	2	講義	15		○				2		2	2		
		ハ	保育の対象の理解に関する科目	教育行政	2	講義	15			○			2	2		※	2	
		ニ		教育心理学	2	講義	15		○			2		2		※	2	
				発達心理学	4	講義	30	○				4		4		4		
		ホ		子ども家庭支援の心理学	2	講義	15		○				2		2	2		
				特別支援教育	2	講義	15			○			2	2		※	2	
				子どもの保健	2	講義	15	○				2			2	2		
				子どもの食と栄養	2	演習	30		○				2		2	2		
		ロ		幼児理解の理論と方法	2	演習	15			○			2	2		2		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等	ハ	保育の内容・方法に関する科目	保育・教育課程論	2	講義	15	○				2		2		2		
		イ		教育方法及び技術	2	演習	15			○			2	2		※	2	
				社会的養護Ⅱ	1	演習	15		○				1		1	1		
				子育て支援	1	演習	15		○				1		1	1		
				乳児保育Ⅰ	2	講義	15		○				2		2	2		
				乳児保育Ⅱ	1	演習	15		○				1		1	1		
				子どもの健康と安全	1	演習	15		○				1		1	1		
				障害児保育	2	演習	30			○			2		2	2		
		ハ		教育相談	2	講義	15			○			2	2		※	2	カウンセリングを含む
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	イ		子どもと健康	1	演習	15			○		1		1		1		
				子どもと人間関係	1	演習	15			○		1		1		1		
				子どもと環境	1	演習	15		○			1		1		1		
				子どもと言葉	1	演習	15		○			1		1		1		
				子どもと身体表現	1	演習	15		○				1	1		※	1	
				子どもと造形表現	1	演習	15	○					1	1		※	1	
				子どもと音楽表現	1	演習	15	○					1	1		※	1	
		ロ		保育内容総論	2	演習	15	○				2		2		2		
				保育内容指導法　健康	2	演習	15			○		2		2		2		
				保育内容指導法　人間関係	2	演習	15			○		2		2		2		
				保育内容指導法　環境	2	演習	15		○			2		2		2		
				保育内容指導法　言葉	2	演習	15		○			2		2		2		
				保育内容指導法　表現Ⅰ	2	演習	15		○			2		2		2		
				保育内容指導法　表現Ⅱ	2	演習	15			○			2	2		※	2	
	教育実践に関する科目	イ		幼稚園教育実習	5	実習	時間割外			○	○		5	5			5	事前・事後指導1単位を含む 授業回数　3年後期：7回 4年前期：10回　4年後期：3回
		ロ	総合演習	保育・幼稚園教職実践演習	2	演習	15				○		2	2		2		
			保育実習	保育実習指導Ⅰ	2	演習	30		○	○			2		2	2		保育実習指導Ⅰ　授業回数 2年前期：　2回　・　2年後期：　8回 3年前期：15回　・　3年後期：　5回
				保育実習Ⅰ	4	実習	時間割外			○			4		4	4		
				保育実習指導Ⅱ	1	演習	15			○	○		1		1	3③	1	③、④いずれか3単位必修　保育実習指導Ⅱ　授業回数 3年後期：5回 4年前期：8回　・　4年後期：2回
				保育実習Ⅱ	2	実習	時間割外				○		2		2		2	
				保育実習指導Ⅲ	1	演習	15			○	○		1		1	3④	1	保育実習指導Ⅲ　授業回数 3年後期：5回 4年前期：8回　・　4年後期：2回
				保育実習Ⅲ	2	実習	時間割外				○		2		2		2	

	幼教系列	保育士系列	授業科目	単位数	授業形態	授業回数	履修年次				卒業		幼稚園教諭一種		保育士		備考
							1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
専門教育科目	本学独自の科目		認定こども園基本実習	1	実習	時間割外		○				1		1	1		
			学童保育	2	講義	15				○		2		2		2	
			ピアノ演習Ⅰ	2	演習	30	○				2(⑮)	2		2	2(⑮)	2	⑮この内より2単位卒業必修
			器楽演習	2	演習	30	○					2		2		2	
			ピアノ演習Ⅱ	2	演習	30			○			2		2		2	
			保育の造形技術Ⅰ	1	演習	15			○	○		1		1		1	
			保育の造形技術Ⅱ	1	演習	15			○	○		1		1		1	
			保育と音楽Ⅰ	1	演習	15		○				1		1		1	
			保育と音楽Ⅱ	1	演習	15			○			1		1		1	
			子どもの体育学Ⅰ	1	演習	15		○				1		1		1	
			子どもの体育学Ⅱ	1	演習	15			○			1		1		1	
			保育と自然	1	演習	15				○		1		1		1	
			運行事研究	1	演習	15				○		1		1		1	
			社会調査法演習	1	演習	15			○			1		1		1	
			保育の統計学	1	演習	15			○			1		1		1	
			保育施設管理論	2	講義	15				○		2		2		2	
			地域福祉論	2	講義	15				○		2		2		2	
			臨床心理学	2	講義	15			○			2		2		2	
			心理査定法	1	演習	15			○			1		1		1	
			カウンセリング概論	2	講義	15			○			2		2		2	
			カウンセリング演習	1	演習	15			○			1		1		1	
			子育て支援政策	2	講義	15				○		2		2		2	
			ゼミナールⅠ	2	演習	30			○		2		2		2		
			ゼミナールⅡ	2	演習	30				○	2		2		2		

小学校教諭免許状の取得（科目履修制度）について

こども学科では幼稚園教諭一種免許状の取得を前提として、他大学の授業科目を追加履修することで小学校教諭免許状の取得ができる機会を設けています。東京未来大学通信教育部との提携により、通信教育によって小学校教諭免許状取得に必要な単位を修得する制度です。

小学校教諭免許状取得のための最低必要単位数は、一種免許状で 47 単位（24 科目）、二種免許状で 37 単位（19 科目）です。

通信教育課程は、テキストとインターネットで学習する「テキスト科目」と、対面で実施する「スクーリング科目」があります。テキスト科目で履修するのは一種免許状で 38 単位（19 科目）、二種免許状で 28 単位（14 科目）です。スクーリング科目は 9 単位（5 科目）で本学宮代キャンパスにて実施します。

1 年次後期に申し込み手続きをし、2 年次前期から履修開始することを推奨しています。

なお、履修する科目ごとに受講料がかかります。詳細については科目履修生募集要項を用意していますので、教務課迄問い合わせてください。

福祉学部こども学科カリキュラムツリー（令和４年度以降入学生用）

学位授与方針（ＤＰ）

- **DP1. 総合力**：人間や文化について幅広い知識を身につけ、広い視野から理解することができる思考力・判断力
- **DP2. 問題発見・解決力**：現代社会に関心を持ち、課題を見つけ出して解決に取り組むことができる関心・意欲・態度
- **DP3. 構想・構築力**：新たな問題を言語化またはモデル化し、それに対する分析や提案をおこない、論理的に説明する力
- **DP4. コミュニケーション力**：学びによる能力や素養を活かすために、他者との相互理解を実現する力
- **DP5. 実践力**：保育・教育の専門性を実践するために必要な知識・能力・技能

学年

4年

保育・教育技術の実践力養成

- ゼミナールⅡ 4C-477R
- 地域福祉論 4C-450
- 子育て支援政策 4C-452
- 学童保育 4C-462
- 保育と自然 4C-474
- 園行事研究 4C-475
- 保育施設管理論 4C-476
- 保育・幼稚園教職実践演習 4C-NK-454
- 幼稚園教育実習（事前指導含） 4C-K-453
- 保育実習指導Ⅱ 4C-N-455
- 保育実習Ⅱ（保育所） 4C-N-456
- 保育実習指導Ⅲ 4C-N-460
- 保育実習Ⅲ（施　設） 4C-N-461

3年

保育・教育・相談技術の修得

- ゼミナールⅠ 4C-N-376R
- 保育の造形技術Ⅰ 4C-472
- 保育の造形技術Ⅱ 4C-473
- 特別支援教育 4C-K-350
- 教育行政 4C-K-351
- 幼児理解の理論と方法 4C-K-356
- 教育方法及び技術 4C-K-357
- 障害児保育 4C-N-358
- 教育相談 4C-K-359
- 保育内容指導法 健康 4C-NK-362R
- 保育内容指導法 人間関係 4C-NK-363R
- 保育内容指導法 表現Ⅱ 4C-K-364
- 子どもと健康 4C-K-370R
- 子どもと人間関係 4C-K-371R
- カウンセリング概論 4C-354
- 臨床心理学 4C-352
- 保育と音楽Ⅱ 4C-372
- 子どもの体育学Ⅱ 4C-373
- 社会調査法演習 4C-374
- 保育の統計学 4C-375
- 心理査定法 4C-353
- カウンセリング演習 4C-355
- ピアノ演習Ⅱ 4C-368
- 保育実習指導Ⅰ 4C-N-365
- 保育実習Ⅰ（保育所） 4C-N-366
- 保育実習Ⅰ（施　設） 4C-N-366

2年

保育・教育と相談対象の理解

- 地域研究 4C-404
- データサイエンス 4C-203
- 日本国憲法 4C-K-200
- 会話演習 4C-N-201R
- 英書リーディング 4C-NK-202R
- 教育原理 4C-NK-250R
- 子ども家庭支援論 4C-N-251
- 教育心理学 4C-NK-252R
- 子ども家庭支援の心理学 4C-N-253
- 子どもの食と栄養 4C-N-254
- 子育て支援 4C-N-256
- 乳児保育Ⅰ 4C-N-257
- 子どもの健康と安全 4C-N-259
- 社会的養護Ⅱ 4C-N-255
- 乳児保育Ⅱ 4C-N-258
- 保育内容指導法 環境 4C-NK-261R
- 保育内容指導法 言葉 4C-NK-262R
- 保育内容指導法 表現Ⅰ 4C-NK-263R
- 子どもと環境 4C-NK-266R
- 子どもと言葉 4C-NK-267R
- 子どもと身体表現 4C-NK-268R
- 保育と音楽Ⅰ 4C-269
- 子どもの体育学Ⅰ 4C-270
- 認定こども園基本実習 基本実習事前指導 4C-N-264

1年

保育・教育と相談の基本理解

- 文学演習 4C-104
- 音楽演習 4C-105
- 美術演習 4C-106
- 国際理解論 4C-108
- 国際理解演習 4C-109
- 初年次教育 4C-N-114R
- 情報機器操作Ⅰ 4C-NK-101R
- 情報機器操作Ⅱ 4C-NK-102R
- 生活教養Ⅰ 4C-N-117R
- 生活教養Ⅱ 4C-N-118R
- 文章表現Ⅰ 4C-N-115R
- 文章表現Ⅱ 4C-N-116R
- 英会話Ⅰ 4C-NK-110R
- 英会話Ⅱ 4C-NK-111R
- 体育講義 4C-NK-112R
- 体育実技 4C-NK-113R
- 保育者論 4C-NK-150R
- 保育原理 4C-N-151R
- 社会的養護Ⅰ 4C-N-152R
- 社会福祉 4C-N-153R
- 子ども家庭福祉 4C-N-154
- 発達心理学 4C-NK-155R
- 子どもの保健 4C-N-156R
- 保育・教育課程論 4C-NK-157R
- 保育内容総論 4C-NK-160R
- 子どもと音楽表現 4C-NK-164R
- 子どもと造形表現 4C-NK-163R
- ピアノ演習Ⅰ 4C-NK-161R
- 器楽演習 4C-NK-162R

※　Ｎ：保育士資格必修　保育士資格は卒業を前提としているため、卒業必修科目はすべてＮの表記が付く。
　　Ｋ：幼稚園免許必修
　　Ｒ：卒業必修

教育科目・実習種別：基礎科目・教養科目・外国語・情報教育・国際理解 ／ 専門教育科目 ／ 保育現場での実習等

点線の枠は選択科目